

第6回 富士見丘小・中学校改築検討懇談会会議録

会 議 名	第6回富士見丘小・中学校改築検討懇談会
日 時	平成30年9月26日(水) 午前10時～午前11時55分
場 所	富士見丘小学校 1階 特別活動室
出 席 者	懇談会委員18名(欠席6名)
傍 聴 者	2名
次 第	1 開会 2 第5回懇談会の主な意見等について 3 改築基本計画中間まとめ(案)について 4 C'案の配置・平面イメージ(たたき台)について 5 今後の進め方について 6 通学路について 7 閉会
資 料	資料1 第5回懇談会の主な意見等 資料2 改築基本計画中間まとめ(案) 資料3 C'案の配置・平面イメージ(たたき台) 資料4 今後の進め方(案) 資料5 改築かわら版 第2号(案) 資料6 通学路の課題に対する取組について(案)

進行役	<p>本日は、第6回富士見丘小・中学校改築検討懇談会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日も、会議時間は2時間程度正午頃の終了を目安に進行したいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>(欠席者等についての連絡)</p> <p>それでは、配布資料の確認等を事務局からお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>(配布資料の確認)</p> <p>今回も前回の懇談会の会議録については、テープ起こしたものを委員の皆様にご確認いただき、席上に配布しております。</p> <p>また、本日、学務課長は区議会の災害対策特別委員会出席で懇談会を欠席のため、田中教育委員会事務局次長が出席しております。</p>
教育委員会事務局次長	<p>皆さん、おはようございます。この懇談会も6回目ということで、毎回貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。今日は、またお話がありますけれども、中間のまとめや今後の課題などを整理する貴重な時間になると思いま</p>

	<p>すので、よろしくお願いいたします。</p> <p>私は、この4月に教育委員会事務局次長に着任しました、田中哲と申します。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>それでは、次第に従いまして、進めさせていただきます。</p> <p>次第2「第5回懇談会における主な意見等について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。</p>
学校整備課長	(資料1を説明)
進行役	<p>ありがとうございました。以上、説明をいただきましたが、ご意見、質問等ありますでしょうか。</p> <p>それでは引き続き、次第3の「改築基本計画中間まとめ(案)について」、事務局から説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	(資料2を説明)
進行役	<p>ありがとうございます。では、ここで高見澤先生からコメントがあればいただきたいと思えます。</p>
委員	<p>これまで5回の懇談会で、様々な議論がなされたので、内容が煮詰まってきたという印象を皆様もお持ちかも知れません。前半のところは、前回の報告と基本的には変わらないということで、後半の説明がありました。34ページのこういう意見を踏まえて区としては、C'案を総合的に優れた目指すべき案とするというご提案に対して、この懇談会で決めることではありませんが、その方向性を理解できるかどうかということでご意見があれば言っていただきたいです。</p> <p>あとは、35ページで、中学校の特別教室棟はまだ建物としての寿命はあるのだけれど、壊してしまうということに対して、このことも理解できるかということで、かなり技術的なことなので、そういうことなのかなということでも結構なのですが、懇談会に参加されている皆さんもそれなりに納得されているということは、いずれ区議会だとかそういうところで財政的な面や環境的なことで、まだ旧特別教室棟は使えるのではないかというご意見が出ることも予想されますので、早めに改築の方針が示されて議論がなされたということも大事かと思えます。</p> <p>それから、37ページの工事工程については、余裕をみたという風に理解してよろしいですね。私は元々建築の人間ですけれども、昔は建設会社は土日も働いていましたが、近隣への騒音の問題等から現在、原則日曜日は休日となっていて、どうしてもこの工事だけは行いたいという時は、近隣の方にご説明して工事を行うことはありますけれども、基本的に日曜日は休日です。ただ、オリンピックまでは多少仕方がない面もありますが、その後建設業界も少し余裕が出てきたら働き方の問題として、土日連続で休めるかは別としても週休2日にすべきであるという働き方を少しでもということで、そういう方向に行くであろうということで建設業界としてもコンセンサスを得つつあります。ということは、少し工事期間に余裕を見ておかなければいけないということも配慮されているのだと思えます。</p>

	<p>そのことと、前回も出ましたけれども、2、3年間この小学校の方を中学校が使うことになるということ、このことはメリットとしては仮設校舎が必要ないということがありますが、ある意味ではそれで安心なのかということは、前回も出ましたけれども、今回も少しご意見をいただけたらと思います。実際の設計がどうなるかということは次の議題でご説明いただけたらと思います。仮にこのようなことを前提としたのならば、小中学校の設計を、もうちょっと今の段階で皆様のご意見をいただこうというのは次の議題でお願いいたします。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明を受けて、ご意見やご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>基本的なことなのですが、この懇談会の位置づけを教えてください。この中間まとめに対して、懇談会はどこまで責任が及ぶものなのですか。これは誰が誰に対して出すものなのでしょうか。</p>
学務整備課長	<p>この改築基本計画は、あくまで杉並区教育委員会がまとめるものです。我々杉並区の教育委員会としましては、今までの学校づくり、色々な学校をつくってきましたけれども、改築に向かって、一方的に区が決めるものではなく、このような計画づくりの段階で学校関係者、地域の方々にお集まりいただいて、意見を聞きながらこの基本計画づくりを進めていくという考えに沿っております。今まで皆様から色々なご意見をいただいて、本日中間まとめということで案を出させていただいておりますので、あくまでも、皆様にはご意見をいただき、最終的な計画の作成者は教育委員会となります。</p>
委員	<p>そうしますと、やはりこの懇談会委員から出た意見は、最大限もらさず盛り込んでいただいた方が、採用するしないの最終的な判断は区ですけれども、出た意見というものは尊重されるべきだと思います。</p> <p>富士見丘小学校の学校運営協議会でも議題になって話をしました。39ページの安心して通える学校づくりのところで、ハード・ソフトの両面からの安全確保ということもあって、この間何度も、他の委員がスクールバスのようなもの対応をお願いしていました。それについて検討をもうしないということでしたが、実際に学校ができて運用開始になるのは何年も先なので、5年くらいは検討期間があるのではないかと思います。</p> <p>その間で、放射5号線が本格的に供用開始になった時の状況であったり、それが定着してからの交通量であったりとかは、先のことなので予測が立たないこともあるかと思いますので、検討は続けますということを入言として入れておいていただきたいです。5年先、社会情勢等で結果どうということはあると思いますが、中間まとめの段階でスクールバスの可能性はゼロですと決めてしまうのは、まずいのではないかと思います。そこは含みを持たせてもらって「検討は続けます」という文言でまとめてほしいと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>これについては、後ほど通学路の安全性と、距離の問題については議題で上がります。我々も考えまして、複数の選択肢をご用意させてもらっていますので、それをお聞きになっていただいてから、最終的に文章でまとめるのかというご意</p>

	見をいただければなという風に思います。
委員	冊子になっている中間まとめ（案）は、さらに色々な内容が付け加えられて最終盤になるのですか。中間まとめの案に載らないものは、最終まとめに載るとは思わないので、中間まとめでちゃんと文言として残してもらいたいという意見です。
学校整備担当部長	誤解のないようにご説明しますと、中間まとめと別の機会に最終まとめを作ります。その前、地域の皆様への説明会を11月に予定しています。そこでまたご意見をいただきます。そういったものも含めて最終まとめになりますので、中間まとめに載っていないものが最終まとめに載ることも当然ありますし、中間まとめから変わることもあります。中間まとめがそのままスルーで最終まとめになることはおそろくないと思われます。
進行役	よろしいですか。その他ご意見等ございましたら、お願いいたします。 特に意見がなければ、私からスケジュールについての確認なのですが、改築のスケジュールが早まったりすると保護者への影響が大きいかなと思うのですが。
学校整備課長	今回お示ししましたスケジュール案は、建築基準法上の手続等、また先ほどの週休2日制の関係で、工事期間が延びるということを前提としたスケジュールとなっています。我々としては、できれば前倒しで早められるものは早めての開校が良いと思っているのですが、どのような状況でスケジュールが変わるのかわからないので、あくまでも現時点での想定のものなので、これで決まりということではありませんし、実際には延びる可能性もありますし、早まって前倒しになる場合もあるということで、ご理解いただければと思います。
進行役	ありがとうございました。そのほか、ご意見ございますでしょうか。 では、次第4の「C'案の配置・平面イメージ（たたき台）について」、ご説明をお願いします。
教育施設計画推進担当係長	資料3で、先ほどの中間まとめの案として方向性を出させていただきました。前回、実際C'案になった場合に、例えば教室の向きがどうなるのかなど建物の中身の方が具体的に気になるかと思いますので、今回は基本計画の策定をお手伝いいただいている池下設計さんに案を作っていただきました。あくまでこの案はたたき台ということではございますけれども、こちらについて、池下設計の高好部長からご説明をしていただきたいと思います。
池下設計建築設計部部長	私の方からご説明させていただきます。まず、皆様には資料3ということで平面図を2枚お配りしておりますが、その説明の前に補足資料として本日お持ちしています。 (プロジェクターにて資料説明) まず、今後今日の議題にも出てきますが、今後のスケジュールということも含めて今皆様にご意見をいただいているのは「基本計画」の段階です。この後「基本設計」「実施設計」と進んでまいります。その段階で、何を決めなければならぬかということが、明確に決まっているわけではありません。プロジェクトに

よっては、この「基本計画」がなく、いきなり「基本設計」から始まることもあります。今回は区の方針で、まず「基本計画」を行って「基本設計」を行っていくという流れで進んでおります。「基本計画」については基本方針および必要な施設・性能・規模を確定させるということで、まとめとしては事業の目的とか基本方針とか皆様とご議論いただいている内容を取りまとめるということでございます。

今後、基本設計や実施設計へと進んでまいりますので、ここでの意見や諸条件を踏まえて具体的なものが決まっていきますので、今日お見せするものは、あくまでたたき台ということで今後変わっていく可能性がございます。

続きまして、教室の広さのイメージです。今回計画の小中学校の普通教室は、現在の広さとおおよそ同じくらいです。これは杉並区だけではなく、ほとんどの学校がこのくらいの広さとなっています。一般的な教室の広さとしてイメージしていただければと思います。特別教室は、普通教室2つ分の広さがありまして、2つのうちの1.5個分を教室、残りを準備室という使い方で構成しています。

それから、多目的室は普通教室2つ分の広さとなっています。3階のラーニングセンターの隣にあるランチルームを兼ねた多目的室は、普通教室3個分で考えております。技術室は、今の中学校の木工室と金工室と同じくらいの広さとなっています。家庭科室については、被服室と調理室を兼ねています。広さとしては、技術室と同じくらいの広さとなります。今の被服室と調理室を合わせた広さよりは狭くなります。

ラーニングセンターは、小学校・中学校の図書室と図書準備室を合わせた広さよりも、かなり広い面積を確保する計画としています。

アリーナについては、小学校・中学校共に現在より広いスペースで計画をしています。今回新たに作る武道場は、この特別活動室と廊下を含めたより少し広いくらいの大きさを計画しております。

次に、各階の平面図です。西側の敷地については南北に細長い敷地なので、その敷地の中に建物を計画すると、建物も細長くなってしまいます。これは、外的条件でどうしようもないので、ご理解いただければと思います。

構成としては、南側が校舎、北側にアリーナがあって、その北に学童クラブがあります。学童クラブの入口は、多目的広場側に面していますので、放課後一度小学校の昇降口を出てから、学童クラブのエリアに入るということになります。

細長い建物なので、居室は西側と東側、南側に並ぶ形となります。東側敷地、中学校側の構成については、東側にグラウンドを設けて、小学校校舎側に建物を配置する構成としています。こちら西、東、南側に教室を配置しております。

管理しやすいということで、1階に職員室や事務室などを配置しております。

地域開放について、小学校側の開放玄関はアリーナの近くに設置してあります。中学校の方も、アリーナ近くに開放玄関を設置してありまして、その横に開放会議室がございまして、地域の皆様が使いやすいような位置で考えております。

防災に関して、小中共にアリーナの部分に防災倉庫を設けてあります。それ以

外の児童・生徒のための備蓄倉庫があります。中学校側のグラウンドにも防災倉庫を配置しております。

2階については、西側、東側、南側に各教室が並んでいます。西と南はそれぞれ多目的広場と旧 NHK グラウンドに開けた形となっています。西、南、東側には周りに建物がなく、グラウンドと公園に面しているため、採光、通風は十分にとれると考えております。採光・通風のために、小・中それぞれの校舎に光庭を設けています。

構成として普通教室は、小学校は西側、中学校は東側という形で、しっかりと分けてゾーニングをしています。渡り廊下を境にして、西側に小学校の特別教室、東側に中学校の特別教室を配置してあります。

3階にラーニングセンター、多目的室がありまして、これは小中共同で使うイメージで構成されています。家庭科被服室も小中共同で使うということで計画されています。理科室については、小学校が1教室、中学校が2教室となっています。3階の渡り廊下付近で、小中学生の交流もはかれるのではないかと考えております。

また、2階小学校のアリーナ付近に見学ラウンジを設けてあります。これは普通教室程度のスペースがありまして、アリーナでの活動を見学することが出来ます。中学校に関してはアリーナに接して武道場がございますので、ここも武道場とアリーナの間に窓を設ければ、武道場からアリーナの状況が見えるということも可能でございます。武道場については開放玄関の真上でございますので、階段をのぼってすぐに地域の方々が使えるというつくりになっています。多目的室も学校の運用の仕方にもよるのですが、地域開放をすることができるのではないかと考えています。

それから、2階の光庭付近に、それぞれ小・中の学校支援本部と PTA の部屋を計画しています。

屋上については、小学校の屋上に小学校のプール、中学校のアリーナの上に中学校のプールを配置しています。

断面図について、渡り廊下は、品川区の豊葉の杜学園と同様に3階に設けてあります。

他には、児童生徒数の変化にどう対応するかということです。例えば、弊社で昔設計した学校の例なのですが、多目的室＝普通教室3つ分の大きな部屋を確保してあります。移動間仕切りで3つに仕切ることもできるようになっています。児童生徒数が増えた時には、間仕切りを作ってクラスルームを3つ作ることができます。この間仕切りはコンクリートではないものですので、将来子どもの数が減った時には、壁を壊してクラスルーム2つ分の広さの、何か別の用途の部屋にもできますし、間仕切り壁をすべて壊して3つ分の広さとすることもできます。構造的なことを考慮して、今回の計画でもこのようなことができるのではないかと考えています。今回の計画の多目的室について言うと、普通教室に転用することができるような構成となっています。私からの説明は以上でございます。

進行役	ありがとうございました。ではここで、高見澤先生のご意見をお願いします。
委員	<p>どうでしょうか。皆様、この平面計画を初めて見て、全部が理解できる訳ではないと思います。建築の分野の私でも、読みきれない部分があるので、気がついたことを言っていたきたいと思います。</p> <p>地元説明会で、この図面を出すのかということもありますが、来年の春に予定されている基本計画を最終的に教育委員会がおまとめになる時に、このような概ねのプランをつけるのか、付属資料くらいでとどめるのか、付けないのかによっても、区民の皆様にご与える印象も違うと思いますが、いずれにせよ、次に基本設計という実際の設計の一手手前が来年以降にあって、最後の実施設計というのは、鉄筋をどこに配置するのかとか、具体的なスケジュールの細かいところを決めていくような、あるいは設備を決めたり、費用の調整をするというような工事のための実施設計です。来年以降の基本設計で決まっていくことを考えると、今回の基本計画で、このプランがどの程度の意味で載るかということが気になるので、事務局からもお考えを聞いておきたいと思いました。プランの細かいところは、持ち帰って見ていただかないと、色々ご意見があるとは思いますが、基本として、廊下型といたしますか、廊下があってその周りに教室が並んでいるといたしますか、品川区の豊葉の杜学園は廊下が割と広くて、オープンスクールとまではいきませんが、開放的な印象がありましたよね。そういうのではなくて、廊下型にするというのは区の方針といたしますか、他の施設、個別に色々な条件の中でやるのでしょうか、教育効果なども含めて区のご意見を伺いたいと思います。</p> <p>1点は基本計画で、プランはどの程度のものをつけるかということ、2点目は廊下のこと、細かいことを言えば渡り廊下が3階にのみつくのですが、この幅は最終調整の中で最小限になるのか、余裕を持てるかということはそれこそ来年以降の問題かと思いますが、そこで小学校と中学校がある種の交流も含めた活動もできて、いつかご説明があったと思いますが、この渡り廊下は決して避難通路ではないと、避難通路は小学校・中学校の建物でそれぞれ縦に確保されていて必要があれば屋外へ避難して出ていくというご説明のままでいいのかというあたりです。</p> <p>また、防災倉庫がそれぞれの場所に計画されておりますが、高井戸公園の方が広域防災拠点ということで、都の方が防災機能として公園の中にどのようなことを考えているのか、これは今はまだわかりません。それとの兼ね合いで隣接する訳なので小学校の校庭となる多目的広場も含めて、この小中学校が地域の防災にもどの程度貢献するのか、それとも、小中学校のみのための防災機能で良くて、あとは高井戸公園の方で整備するものと都の連携の中で考えればいいのか、こちらにも何か求められるのかということが気になります。今日は答えは出ないと思うのですが、将来への多少の配慮事項かと考えています。普通の小中学校とは少し条件がちがうものですから。</p> <p>南側、東側に窓がほしいということですが、今回半分以上が西側向きの教室にならざるを得ないことに対して、技術的な対応方法があればご説明願いたい</p>

	す。
進行役	ありがとうございました。それでは、今の先生のご意見も踏まえて、ご意見ごや質問があればお願いします。
教育施設計画推進担当係長	<p>配置平面の位置づけなのですが、今回の中間まとめの中に入れ込むことは考えておりません。決まった設計という形ではなくて、参考といいますか、配置平面のイメージとして載せていきたいと考えています。細かい部屋割ではなく、この部分は小中で連携させた方がいいのではないかとか、考え方の部分を皆様にご意見をいただいてまとめていければ良いかと思っております。</p> <p>また、高井戸公園との連携の話ですが、公益避難場所である高井戸公園と連携をしていく検討していく予定ですが、具体的なことは東京都に投げかけているということでもあります。</p> <p>さらに、渡り廊下の幅に関しましては、警察・消防・道路管理者としての土木の方と協議会を作って決めていきます。小学校と中学校の行き来があるわけですので、具体的に例えば給食室が1つになりますので、その往来が日常的にあるとか、職員や児童生徒の往来がどの程度あるのかなど必要に応じて廊下幅について協議を行い決めていきます。高さについては、道路の上空ということで5.5mくらいは空けなければいけないので、3階くらいの高さにはなってしまいます。</p>
委員	中学校の建物の形は、C'案のようにしか考えられないのでしょうか。例えば、東西にのびた長方形にすることはできないのでしょうか。
池下設計建築設計部部長	<p>中学校の建物を東西に細長く計画すると、グラウンドも東西に細長い形になってしまって、グラウンドの使い勝手も併せて考えると今回の案のようなものがないのではないかとということで、作図をしています。</p> <p>また、先ほど事務局からお話がありましたように、これで決まるわけではないので、今後基本設計に進んだ時に、グラウンドが細長くても良いので、南向きの教室をできるだけ増やしたいという意見が強くて、学校もそのほうが良いということがあったりすると、プランもまた変わってくると思います。</p> <p>前回お示ししましたC案の形が似ているかと思いますが、やはりグラウンドが狭くなることやそういったこともあって今回はこのような提案をさせていただいています。</p>
学校整備課長	あくまでも、例なので、C案だと中学校の建物が東西に細長くなっていて、グラウンドも同様に細長いものとなっていて、それでも良いから南向きの部屋を確保したいというのであれば、それも一案ではありますが、C'案はなるべくグラウンドも広く取りたいということを考えて計画してあります。北側には公営住宅があるので、控えているということもあります。
委員	<p>明かり取りの吹き抜け、光庭があるのは良いと思うのですが、一番心配なのは転落防止についてです。</p> <p>西日が入る西側の教室については、庇を調節して遮光を配慮するとか対応があると良いと思います。冷暖房も完備してあるとはいえ、コストもかかります。</p>

池下設計建築 設計部部長	<p>庇を設けたり、バルコニーを設けることで多少軽減はできるかと思います。他はカーテンをつけていただくことでも日射の調整にはなります。</p> <p>そのあたりも皆様ご意見をいただきながら、設計に反映できればと思います。</p> <p>転落防止については、建築基準法上、1.1mより高い手すりを設けることといったような規定もございますので、それに準じて、1.1mより下は壁にするとか、それより下はガラスにするとしても開かないものとするなどの対応はできるかと思います。</p>
委員	<p>今の説明を聞いて、教室も児童生徒数に対応して、壁を作ったり、取り壊したりできるという非常に柔軟な対応をされているかなと思います。</p> <p>ただ、気になるのは、2032年度の将来児童生徒の推計を見ると、小中合わせて千名を超えると思います。給食室は小中共用かと思いますが、児童生徒数の増加で対応ができるのでしょうか。給食室のような設備は限度がありますので、しっかり捉えておかないといけないかと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>設備面の細かい検討はこれからなのですが、広さとしては小学校 18 学級中学校 12 学級のピーク時にも耐えられる面積は計画していますので、推計についても 2032 年以降は全体の人数も減ってくるであろうことも加味して計画しております。</p>
学校整備担当 部長	<p>確かに、ピーク時は、教室だけではなく給食室や設備関係なども対応が必要になってきますので、そのようなことも考慮していくことになるかと思います。</p>
委員	<p>3点ございまして、1点目は、3階東棟の郷土資料室なのですが、3階にあると足が遠のいてしまうかと思います。また、地域の方にもご覧いただいた方がよろしいかと思います。1階東棟の開放会議室の一角などにご検討いただけたら良いのではないかと思います。</p> <p>2点目は、小中合わせて 30 学級、週 5 日授業で最大 6 時間で計算するとちょうど 30 になります。例えば、理科の時間が週に 1 回ということであれば、小学校と中学校で理科の教室を共用して使うことができないかなと思いました。</p> <p>3点目が、廊下はやはりそれなりに余裕があった方がいいかなと思っています。3階西棟のラーニングセンターの下に多目的室があって、階段を挟んで家庭科の被服室と付近に家庭科準備室がございます。例えば、多目的室のところに家庭科被服室と家庭科準備室を配置して、入れ替えることができると、横の動線を増やすことができるのかなと思いました。</p>
委員	<p>理科の授業は 5、6 年で週 3 回ずつあるので、1 部屋では対応できません。おそらく大変なのは、指導者の時間割を組むことです。ですので、6 学級としても 18 時間は使うので、専科の教員などか入りますと、中学はすべて専科ですから、その先生がどこにくるかとか、講師対応であるとか色々なことがあったりすると、1つの教室をみんなで使うということになると、すごく組みづらくなってしまいます。</p>
池下設計建築 設計部部長	<p>多目的室と家庭科室を入れ替えることは、面積的には少し厳しい状態です。ラーニングセンターと多目的室は、間を可動間仕切り等でしきり、場合によっては</p>

	<p>一体的に使用できないかということで現状のプランになっております。</p> <p>今後の検討事項ですが、家庭科室と準備室が離れておりまして、是非隣に設けたいと思ったのですが、現段階では配置できていません。このあたりも含めて基本設計で検討していければと思っております。</p>
学校整備課長	<p>郷土資料室についてですが、確かに上の階にあって行きづらいということがあるようでしたら、場合によっては開放会議室と入れ替えるというのも一案かと思えます。</p>
委員	<p>1階の多目的広場側の建物と広場の間は、どのような場所ですか。</p>
池下設計建築設計部部長	<p>基本的に、メンテナンスのために通路状になっています。その他は植え込みなどになっています。</p>
委員	<p>例えば、理科で種をまいて育てたりということに使っても良いということですか。</p>
池下設計建築設計部部長	<p>そのようなこともできるとは思います。</p>
委員	<p>1階の平面図で昇降口はどこですか。また、中学校の給食を運ぶ時にはどうするのですか。</p>
池下設計建築設計部部長	<p>子どもたちが出入りする昇降口は、小学校は南側、中学校はグラウンドのある東側となっています。配膳については、給食室の脇にエレベーターがございまして、3階まで上がって廊下を通って渡り廊下を渡って、中学校棟のエレベーターを使ってそれぞれの教室に運ぶというイメージになっています。距離はございます。</p>
委員	<p>小学校棟の3階の配置なのですが、南に多目的室と理科室がありますが、南向きなのでそこにクラスルームをもってきた方が良いのではないかと思います。</p> <p>給食の配膳のエレベーターについてなのですが、本校もありがたいことにエレベーターがあるのですが、担架が入りません。車いすを使って対応しているのですが、あまり頭を起こしたくない時は担架での移送を考えて、エレベーターも対応していただければと思います。</p> <p>また、給食室については、エレベーターにワゴンが何台入るかということも考慮してエレベーターを設置していただければと思います。一度にたくさんの食事を運ぶので、1台か2台かで大きな違いが出てきます。</p>
池下設計建築設計部部長	<p>エレベーターの大きさについては、現段階では決まっておられません。バリアフリーの関係では11人乗りが一番小さいサイズなので、それよりは大きくなります。それより大きいサイズのエレベーターにするかは、今後の検討によります。担架を入れるとなると、奥行きが必要になってくるので、そのあたりも今後検討していかなければいけないと思っております。エレベーターが大きくなるとその分コストもかかって、メンテナンスコストもかかるので、そのあたりも含めて検討が必要かと思えます。ワゴンについては、豊葉の杜学園でも1台しか入らない</p>

	<p>ので、苦勞しているというお話があったと思いますので、そのあたりも何食くらい運ぶ必要があるのかとか調整する必要があると思っています。</p>
委員	<p>エレベーターは給食のためにしているのかと思っていたのですが、一般の人でも乗ることができるのでしょうか。車いすの方はこの給食ワゴン用のエレベーターを使いますか。また、けがをした子どもたちとか、そういう人と給食のワゴンとは一緒に乗るといいますか。</p>
委員	<p>給食用の小さなエレベーターがついている学校もありますが、今はワゴンはエレベーターで運びます。ワゴンは廊下などどこでも通るので、衛生面では問題がないようにしてあります。</p> <p>子どもが骨折などした時には、特別に許可をして使っています。</p>
委員	<p>駐車場と自転車置場が1つしかないのですが、小中共用ということでしょうか。中学校の出入口から離れたところにあるので、来賓の方とかは大変ではないかと思っています。</p>
学校整備課長	<p>このプランは一案ということで示したもので、実際には中学校の出入口付近でそのように活用できる場所があれば、自動車・自転車置場とすることは考えられると思います。</p>
学校整備担当部長	<p>資料3のC'案は、本日初めて皆様にご覧いただいたもので、まだこれは出発点ですので、当然完全に決まったものではありません。様々なご意見をもとに改善していくものです。先ほど事務局からお伝えしましたように中間まとめに載ることもありません。そのあたりをご理解いただければと思います。</p> <p>ただ、少しずつ基本設計に向けて進めていかなければいけませんので、漠然としたところで話をしても計画が進みませんから本日このような形で一案をお示しさせていただきましたので、また、様々なご意見いただければと思います。</p>
進行役	<p>では次に進めさせていただきたいと思います。続いて次第5今後の進め方について事務局からご説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>(資料4および資料5を説明)</p>
進行役	<p>ご説明ありがとうございます。ただ今のご説明を踏まえまして、ご意見や質問等ありますでしょうか。</p> <p>続きまして、次第の6「通学路について」事務局から資料の説明をお願いします。</p>
学務課学事係長	<p>(資料6を説明)</p>
進行役	<p>ただ今のご説明を踏まえ、ご意見等ありますでしょうか。</p>
委員	<p>区域外就学の特例措置についてなのですが、受け入れ校付近に大きなマンションが建ったとして、その学校の収容人数自体がいっぱいになってしまうこともあると思いますし、そうなるを受け入れてもらえることも多分難しいと思います。芦花公園駅の付近でもそんな話を聞いたことがありますが、今後1年2年は大</p>

	<p>丈夫かも知れないのですが、実際に通える小学校は5年後からなのですよね。5年後も大丈夫と言いつけるのも難しいと思うので、それならばここもあるから大丈夫と考えるのではなくて、杉並区内の富士見丘小学校に通えるのが一番なのではないかと思います。</p>
委員	<p>富士見丘通りについてなのですが、放射5号線も開通し交通量も今とは変わってくるかと思うのですが、今後交通量調査の予定はありますか。ない場合は是非実施してもらいたいと思っています。</p>
委員	<p>「通学路オアシス」という考え方はすごく良いなと思いました。安全面の確保ということでパトロールの強化というのも大事なのですが、子どもたち本人は疲れます。登下校の途中で休める場所があれば、遠い距離でも休みながら、道端に座り込むのではなくて、安全な場所で休むことができるというのは考え方としてとてもいいと思います。そこを地域住民やまわりが見守る拠点にもなるということはいいいと思います。この場所を使えそうであるとか具体的なことは、目途がたっているのでしょうか。それともそのような場所があればいいなというくらいのイメージなのでしょうか。</p>
学務課学事係長	<p>放射5号線は今建設中で、かなり広さがありますので、第3建築事務所の方にそのように使わせてもらえないかという話をしたところ、「通学路オアシス」というイメージがなかなか難しく、絶対ダメだとは言われなかったのですが、具体化していない現状では作っていいとはなかなか言えませんということでした。作るのであれば、都立公園に作ってはいかがかといわれてしまった状態です。今考えているのは、富士見丘小学校の隣の公園の中で、東屋ではないですが、道路に沿ったところに屋根をつけて、「通学路オアシス」と表示をして、子どもたちが休める、通学安全指導員の方も休めるようなそんなイメージで考えていただければなと思います。</p>
教育委員会事務局次長	<p>低学年のお子さんが長距離を歩くということは我々も大きな課題かと思っています。本日欠席の高山課長も、実際に八幡山の駅の向こうから何回か歩いてみたりとかして何かいい方法がないかな、と考えて出たのが、どこかに安全なお休み処みたいなものがあって、なおかつ支援本部の方だとか地域の方々とか色々な方のお力添えがあれば、そこで少し休んで、またもうちょっと歩いて行こうかなというような発想が出てきたわけです。地図上で見たり、実際に歩いてみたのですが、ちょうどいい場所に区の施設などがあれば良いのですが、当てはまるところが少し少ないようであります。今後具体化していくには、小学校の東寄りの大宙みたけ保育園であるとか、区の関連事業で建てた高齢者施設とか、具体的なスポットはこれから検討を進めなければいけないかと思っていますが、発想はそのようなことです。</p>
委員	<p>「通学路オアシス」について、すごく良い発想だとは思いますが、そこから帰ってくるのに、どれくらいかかるのか、オアシスで休んでいて帰ってくる時間が遅くなっているのか、体調が悪くなっているのかとかがわからないので、保護者としてはとても心配です。通学路オアシスにいるかも知れないけれど、</p>

	<p>いないかも知れない、そのところが少しわかりません。設置した場合には何らかの方法で居場所がわかるとか、支援の方と親が連絡を取れるとか、子どもが携帯の番号を覚えていれば親に連絡してくれるとか、オアシスにいる場合は連絡が取れるように携帯のアプリじゃないですが、何か対策があるとより安心かと思えます。</p>
<p>学校整備担当 部長</p>	<p>最初の世田谷区への区域外就学へのお話をいただいて胸に突き刺さるものがあります。私どもも含めて新しい良い学校をつくりますので、新しい学校へ登校していただきたいという気持ちは山々です。そういったところで、オアシスであるとか具体的に検討を進めたいと考えております。場所だけではなく、その制度も含めて、これからもう少し検討して、具体的にお示ししたいと考えています。世田谷の件は、あくまでそういった制度もございませうということで、ここに書かせていただいたものをご理解いただければと思います。</p>
<p>教育委員会事 務局次長</p>	<p>杉並区政全般的な課題なのですが、上高井戸一丁目の道路、線路から世田谷側など、色々な行政課題を抱えております。小学生の学校生活ということとなると、世田谷区さんとは長い間お互いの協力関係ということもあるのですが、確かに委員の方がおっしゃるように、いつ大型マンションができて世田谷区の学校への就学が不可能になるかなどはわかりません。杉並区の立地として課題を抱えた場所なので、例えば、おじいちゃんおばあちゃん、お父さん、お母さんは世田谷の学校で卒業したというご家庭もあると思いますので、選択の幅という意味では世田谷区の学校に就学することもあるかと思ひまして、お示しさせていただきました。</p>
<p>進行役</p>	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。 それでは、これで議事の方は終了となりますので、閉会の前に事務局からの連絡事項についてお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>本日もたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。 (事務連絡) 以上です。</p>
<p>進行役</p>	<p>それでは、これで第6回懇談会を終了いたします。皆様、本日はありがとうございました。</p>